

県立病院における災害への対応

病院局総務課

1 電源確保対策

<p>【災害による電源確保対策】</p> <p>○災害に伴い停電が発生した場合、両病院においては次の非常用電源設備により電源を供給する体制をとっている。</p> <p>【中央病院】①地階に設置の非常用電源設備（病棟用・外来棟用、約3日） ②屋外に設置の非常用電源設備（外来棟用、約3日）</p> <p>【厚生病院】③地階に設置の非常用電源設備（病棟用・外来棟用、約3日）</p> <p>○大雨に伴う河川の氾濫（※）により、地階に浸水し上記設備等が故障した場合、電源設備は、中央病院では、②屋外設置の非常用発電設備のみとなる。（厚生病院ではすべての電源が喪失）</p> <p>○今回、新たに非常用電源設備を整備することにより、病院の機能維持（救急患者の受入や入院患者の生命維持等）に必要な電源確保対策を講じることとした。（平成24年2月議会に提出予定）</p>
--

（※）市のハザードマップによると、中央病院では最大2m、厚生病院では、2～5mの洪水による浸水が想定されている。

（1）中央病院における見直し

	現 状			見直し後		
	場所	用途等	期間	場所	用途等	期間
非常用電源設備	本館地階	本館・外来棟	3日	本館地階	本館・外来棟	3日
	屋外2階	外来棟	3日	屋外2階	外来棟	3日
				本館3階屋上	本館（専ら生命維持用）	3日

※本館の3階屋上に非常用電源設備（本館3階以上に供給）を追加整備する。
（事業費：17,819千円）

<p>【考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地階の電源設備が故障した場合、外来棟用の電源のみとなるため、入院患者の生命維持に必要な電源の確保が必要。 ・本館3階屋上（地上約1.1m）に整備することにより浸水被害を回避できる。
--

（2）厚生病院における見直し

	現 状			見直し後		
	場所	用途等	期間	場所	用途等	期間
非常用電源設備	本館・外来棟地階	本館・外来棟	3日	本館・外来棟地階	本館・外来棟	3日
				外来棟4階	本館・外来棟用（生命維持用等）	3日

※外来棟4階に非常用発電設備（本館・外来棟に供給）を追加整備する。
（事業費：79,415千円）

<p>【考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地階の電源設備が故障した場合、すべての電源が喪失するため、病棟用、外来棟用の電源の確保は不可欠。 ・外来棟4階に整備することにより浸水被害を回避できる。
--

2 電子カルテシステムデータの保存対策

【災害による電子カルテシステムデータの消失対策】

- 両病院とも、従来から電子カルテシステムのデータをサーバ及びテープによりバックアップを取ることとしている。
- 今回、上記バックアップデータの保管場所を院内の別棟（中央病院）又は別の階（厚生病院）に分散することによりデータの消失を防ぐこととした。

（1）中央病院における見直し

区分	現状		見直し後	
バックアップ サーバ	外来棟	1階サーバ室	外来棟	1階サーバ室 ※変更なし
バックアップ テープ		2階医療情報管理室 (1階サーバ室真上)		本館

※バックアップテープの保管場所を医療情報管理室（外来棟2階）から事務局（本館2階）に見直す。

【考え方】

- ・外来棟の火災等によるデータ消失の危険性とセキュリティを考慮し、バックアップテープの保管を別棟である本館（2階事務局）に見直すもの（耐火金庫で保管）。

（2）厚生病院における見直し

区分	現状		見直し後	
バックアップ サーバ	外来棟	5階サーバ室	外来棟	5階サーバ室 ※変更なし
バックアップ テープ				4階事務局

※バックアップテープの保管をサーバ室（外来棟5階）から事務局（外来棟4階）に見直す。

【考え方】

- ・想定される災害への対策は現状でもある程度取られているが、データの保管場所を変更することにより万全を期すもの。
- ・バックアップテープの保管場所を院外（データセンター等）にする案、バックアップデータをネット経由でデータセンター等で保管する案等検討したが、いずれもデータの消失リスクと比較して高額等の問題があり、見直し案が現実的との結論に至った。